

# にじのかけはし

令和4年7月 第9号  
上海日本人学校虹橋校  
片桐 里香

希望が丘小学校のみなさん。お久しぶりです。上海日本人学校虹橋校の片桐です。新しい学年・新しい学級の仲間と、様々な活動に取り組み、力をつけていることと思います。連日、日本でもコロナ感染の拡大や高温による熱中症の報道を見ていますが、希望が丘小学校の皆さんは、きっと元気に過ごしている事と思います。

さて、みなさんが楽しみにしている夏休みがいよいよやってきますね！どんな計画を立てているのでしょうか？今年、希望が丘プールで泳ぐことはできるのかな？一生に一回しかないそれぞれの学年での夏休みを充実した毎日にしてほしいな、と思っています。

今回の上海だよりは、「上海の今」をお伝えしたいと思います。



## 上海がロックダウン(都市封鎖)！

まさか…と思っていたことが本当に起きてしまいました。

日本でもたくさん報道されていましたが、3月末から5月いっぱいまでの約2か月半、上海はロックダウン(都市封鎖)をしていました。どんな様子だったかと言いますと…

### ①「上海って、こんなに静かだったんだあ！」

人も車もバイクも自転車も街中にあふれている上海。日本では味わえない活気あふれる国際都市上海。その街から、一切の物音が消えました。コロナ感染拡大阻止のため、外に出ることが一切できなくなったからです。聞こえるのは、鳥のさえずり。なんとまあ！さわやかな朝でしょう。



延安路という上海の街を  
貫く大きな道路。人も車も  
だーれもいません

### ②「あれ？5日っていったよね??？」

最初の発表では、5日程度の都市封鎖と言われていました。ですから、上海に住んでいる私たちは、1週間から長くても10日くらいだろう、と思って食料などの準備をしていました。ところが、1か月たっても解放される気配はありません。最初の2週間は、PCR検査の時以外は、自分の部屋からも出ることができませんでした。次の4週間は、マンションの敷地内には出ることができたので、同じマンションに住んでいる人たちとお話したり散歩したりすることができました。最後の2週間は、1日おきに3時間だけ外出してよいことになりましたが、周りの店は閉まっているか、チケットがないと入れない状態でした。

### ③「一生分のチンゲン菜を食べました…」

では、食料はどうしていたのか？そう、配給です。上海市政府や中国の各地から「上海加油(上海がんばれ!)」と物資が送られてきました。住んでいる場所によって回数や中身は異なりましたが、肉や野菜、調味料などが1週間に1回程度配給されました。毎回、山盛りのチンゲン菜が入っていて、ひたすら食べていました。食べ物があるだけありがたかったです。



1週間に1回程度、毎回違う内容で配給が届きました。野菜や日持ちをするものが中心です。鶏が丸々一羽配給されたときは、さすがに固まりました(笑)。

#### ④「毎日抗原検査!今は2日に1回PCR検査!」

家から一歩も出ないのに、毎日抗原検査かPCR検査のどちらかがありました。部屋から出れなかった時期は、唯一人に会えるPCR検査が少しうれしく感じました。今は、48時間陰性証明がないとバスや店に入れません。



抗体検査は自分でやります。

#### ⑤「団長!買います!」

配給は来るものの、やはりそれでは足りなくなる物資やほしいものが出てきます。そんなときは、マンションごとの「団体購入」に参加して、パンや牛乳、果物などを買っていました。団長が「牛乳買いませんか?」と呼びかけるので、買う人はチャットで連絡をします。団体購入ができるようになった頃は、少し携帯電話を見ないうちに300件ほどの通知が入っていて、びっくりしました。

#### ⑥「困ったときはお互い様!卵、うちにあるよ!」

団体購入でいろいろなものが手に入るようになりましたが、もちろんチャットは中国語と英語。しかも、ものすごいスピードで会話が流れていっていました。ですから、ほしかけたけれど見逃してしまったものもたくさんありました。ある日、「卵はまだ頼める?」と聞いてみたら、4階に住む人から「うちにあるから、持っていきよ」と分けていただきました。5階の人からはオレンジを分けてもらったこともあります。

私の住むマンションには、日本人、中国人、台湾人、韓国人、アメリカ人、カナダ人、イタリア人などたくさんの国の方が住んでいます。国を越えて、たくさんの方々に声をかけていただき、助けていただき、ロックダウンを乗り越えることができました。

糸電話中

#### ⑦「みんななかよし!」

これまで、同じマンションの人たちとあまり話したことはなかったのですが、このロックダウンのおかげ(?)で、マンションの人たちとなかよくなることができました。今でも敷地内で会うとあいさつをしたり、おしゃべりをしたりしています。まだ部屋から出られない時期には、向かいの棟の子どもたちが糸電話をして遊んでいました。今は、日曜日の夕方になるとみんなで水でっぼうで水を掛け合って遊んでいます。



#### ⑧「今もずっとオンライン授業です!」

ロックダウンは5月末で終わりました。自由に外に出られることがこんなにもうれしく、ありがたいことだと身にしみました。虹橋校は4月末に新学期が始まりましたが、今もずっとオンライン授業です。教科書がなかったり、先生たちも学校の中に入れなかったりといつもの新学期とは全く違うスタートでしたが、それでも、画面越しでもみんなに会えることがうれしい!と感じた始業式でした。

今も子どもたちは学校の中に入ることができないため、オンラインで毎日授業をしています。みんなに「今、どこに行きたい?」と聞いたら、すぐに「学校!」という声が返ってきました。上海ディズニーランドではありませんでした。「早く学校に行って友だちと遊びたいよ!」「みんなに会いたーい!」と虹橋校の子どもたちは口々に言っています。早くその日が来るといいな、と願っています。

### 当たり前の幸せ

上海で初めて虹を見ました!しかも二重の虹

突然のロックダウンに戸惑うこともたくさんありました。でも、学校に行けること、友だちと遊べること、外に自由に出かけられること。そんな当たり前の日常が実はとっても幸せなのだ、と改めて感じることができました。

みなさんも、いつもと変わらぬ当たり前の一日を大切に過ごしてくださいね。では、再見!

